

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業結果（令和5年度実施分、総括）

交付対象事業名		交付対象事業の総合戦略での位置付け				交付対象事業の概要									
多世代交流施設を起点としたコミュニティ活性化事業		旭市総合戦略において重点戦略の一つとして位置づけられた「旭市生涯活躍のまち構想」の実現を図るもので、本市の最大の課題である人口減少に対して必要となるものである。				1. コミュニケーションマネージャー育成事業 「地域住民同士」や「地域住民と都市住民」のコミュニティの橋渡し役となる人材を、多世代交流施設「おひさまテラス」を活動の場として、他地域で先進的なまちづくり活動を行っている各種団体からの指導・助言を受けながら、施設運営の実践を通して「コミュニケーションマネージャー」として育成する。 2. 地域コミュニティ創出プログラム事業（「工作」、「図書」、「スモールビジネス」） 「新たなコミュニティの創出」に主眼を置いた地域住民等が気軽に参加しながらコミュニティ活動への関心・参画意欲向上を促す各種プログラムを企画・立案・実施し、多世代・多様なコミュニティ形成を促す。									
事業期間 （計画期間）		事業費 （計画期間累計）				うち交付金充当額 （計画期間累計）				支出内容					
R5.4～R6.3 （R3.4～R6.3）		18,040,000円 （55,913,000円）				8,100,000円 （24,999,636円）				おひさまテラス指定管理料（指定管理業務の業務内容の1つとして本交付金事業を実施）					
重要業績指標（KPI） の名称		事業開始前	令和3年度実績			令和4年度実績			令和5年度実績				計画期間累計		
			目標値	実績値(KPI増) 実績値（年度）	達成 状況	目標値	実績値(KPI増) 実績値（年度）	達成 状況	目標値	実績値(KPI増) 実績値（年度）	達成 状況	状況について	目標値	実績値(KPI増) 実績値（年度）	達成 状況
①	コミュニケーションマネージャー 育成人数(人/年度)	0	+5	+5 (5)	達成	+10	+10 (15)	達成	+10	+10 (25)	達成	これまでに実施した地域コミュニティ創出プログラム事業参加者の中で、まちづくりに興味を持つ地域人材を引き入れること等により、達成した。	+25	+25 (25)	達成
②	地域コミュニティ創出プログラム事業から形成されたコミュニティ数（団体/年度）	0	－	－	－	+20	+23 (23)	達成	+20	+22 (45)	達成	外部人材の後方支援を受けながら、コミュニケーションマネージャーがプログラムを実施。プログラム実施や参加者の紹介等により、達成した。	+40	+45 (45)	達成
③	スモールビジネス支援活動を通じた起業・創業者数（人/年度）	0	－	－	－	+5	+6 (6)	達成	+10	+10 (16)	達成	特技や趣味等で小商いや地域貢献等を考えている地域人材を発掘し、その後押しをテーマとしたコミュニティ創出プログラムの実施により、達成した。	+15	+16 (16)	達成
④	地域コミュニティ創出プログラム事業のプログラム参加者数(人/年度)	0	－	－	－	+500	+1,593 (1,593)	達成	+1,000	+2,214 (3,807)	達成	施設が持つ機能を活用した施設主催のプログラムを88件実施したことにより、達成した。	+1,500	+3,807 (3,807)	達成
重要業績指標（KPI）についての自己評価（令和5年度）									3年間の総括						
「①コミュニケーションマネージャー 育成人数」 ・集合研修や日常でのOJT等で外部人材のノウハウ提供を受けて、スキル向上を図ったほか、これまで実施した地域コミュニティ創出プログラム事業参加者の中で、まちづくりに興味を持つ地域人材をプログラム実施のボランティアに引き入れること等により、達成できた。 「②地域コミュニティ創出プログラム事業から形成されたコミュニティ数」 「③スモールビジネス支援活動を通じた起業・創業者数」 「④地域コミュニティ創出プログラム事業のプログラム参加者数」 ・コミュニケーションマネージャー（以下「CM」という。）が館内利用者とのコミュニケーションを通じて蓄積した情報をスタッフ内で共有・活用することで、各種地域コミュニティ創出プログラムへの参加につなげる等、CMの活動がKPI②、③、④の実績に対しても相乗効果が働き、達成できた。									・外部人材からのノウハウ提供を受けながら、スキル向上を図れたことで、コミュニケーションマネージャーが自ら企画・実施する場合もあれば、地域人材や団体等と連携して、地域コミュニティ創出プログラム事業を企画・実施する場合もあり、地域人材をコミュニティづくりの橋渡し役として確保・育成することができた。 ・地域住民等が気軽に参加しながらコミュニティ活動への関心・参画意欲向上を促す各種プログラムを企画・立案・実施することで、移住者等を含めた、多世代・多様なコミュニティ形成を促すことができた。 ・本交付金事業は、すべてのKPIが目標値を達成しており、地方創生に非常に効果的であった。 【参考：交付金事業の効果選択肢（国調査票）】						
									① 地方創生に非常に効果的であった		例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合				
									② 地方創生に相当程度効果があった		例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合				
									③ 地方創生に効果があった		例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合				
									④ 地方創生に対して効果がなかった		例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとはいえないような場合				